

第44回青函対抗サッカー競技大会

期日：平成19年7月15日

会場：青森市スポーツ公園サッカー場

第1試合

$$\text{ブラックペッカー函館FC} \quad 6 \left\{ \begin{array}{l} 2-0 \\ 4-0 \end{array} \right\} 0 \quad \text{青森公立大学}$$

試合は開始から最後までブラックペッカーのペースで試合が運ばれ、北海道リーグ在籍チームとしての貫禄を見せた試合でした。

試合内容は、両サイドからの攻撃、相手の守備の間を縫っての中央からの突破、パス廻しも素早く相手を終始翻弄していた。試合結果は圧倒的ではあるが、中盤のせめぎ合いや、パスカットからの奪われたボールに裏をつかれたり、相手のスピードのあるドリブルなどでかわされるなど守備の面で何度か危ない場面もあった。都度、試合の中で修正されてはきているが、安定した守備が今後の課題といえる。

守備の課題を克服して、残りの北海道リーグの試合に望んでももらいたいと思います。

第2試合

$$\text{函館FC} \quad 3 \left\{ \begin{array}{l} 0-1 \\ 3-0 \end{array} \right\} 1 \quad \text{シンクロユニシティ}$$

函館FCの前半は、相手チームにボールを支配され守勢一方であった。ボールサイドに選手が依りすぎ、大きな展開が出来ず無理な突破が特に目立ち、再三のチャンスも決定力不足により決められずにいた。そうした中、ゴール前のFKを相手に与え、キーパーのパチングからDFもクリアしたが、相手に押し込まれ先制点を許してしまい前半の終了となった。

後半開始早々、中央からの突破でゴール前に進み、振り切ったシュートがゴール。これで、波にのったのか、グラウンドを左右に大きく使い、相手のDFを混乱させ、次々と追加点をあげていった。

立ち上がりこそ移動の疲れなどもあり動きが鈍かったが、後半には本来のサッカーを取り戻し、サイドからの攻撃、中央からの突破など様々な攻め手を見せ完勝となった試合でした。

文責 深澤昌明